

日本 ASEAN 友好協力 50 周年記念事業  
「日ASEANユース・フォーラム TASC2023」レセプション  
堀井外務副大臣の挨拶

令和5年11月24日

御来賓の皆様、日本 ASEAN 友好協力 50 周年記念事業である「日 ASEAN ユース・フォーラム」のレセプションで御挨拶をする機会をいただき嬉しく存じます。

1973 年に世界に先んじて ASEAN のパートナーとなった日本は、その後、半世紀に亘り、心と心のつながる真の友人として、地域の平和と安定・繁栄のために協力してきました。

私自身、外務大臣政務官時代を含めて多くの ASEAN 諸国を訪問し、日 ASEAN 関係の強化に努めてきました。その中で、日 ASEAN 関係の礎にあるのは、幅広い国民間の交流を通して築き上げた信頼と尊重に他ならないことを実感してきました。

本事業主催者の国際交流基金やかめのり財団も、長年にわたり日 ASEAN 間の交流に不可欠の役割を果たしてきました。

皆さんは「2050 年に向けて、より良い世界を共に創る」をテーマに、数か月に亘る熱い議論を行ってきた成果として、本日、アクションプランを発表したと伺いました。

この事業に参加して得られた経験は必ずや皆さんの財産になることでしょう。

12 月に東京で開催する日 ASEAN 特別首脳会議では、新たな時代を共に創るためのビジョンを共同で打ち出し、「心と心」のパートナーを次世代につなげていきます。

皆さんも、この事業で育まれた「輝ける友情」を継続し、次世代のリーダーとして活躍していかれることを心より期待しています。

御清聴ありがとうございました。